（様式１０－１）　　（※ 技術導入費、専門家経費を計上した場合、記載してください。）

　　　　　　　　　　　　　　　　　**事業費の内容**

事業者名：

**１．導入した技術の内容**

|  |  |
| --- | --- |
| 導入技術名等 |  |
| 知的財産権等の種類 | 特許権　・　実用新案権　・　意匠権　・　商標権国際規格認証その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）許可年月日：許可番号　： |
| 導入技術の内容 |  |
| 導入に要した経費の総額（補助事業に要した経費）支払方法及び期日 |  |

※外部の機関等からの技術指導を受けた場合、その内容等に言及し、試作品の開発実施の過程で必要な技術等をどのように手立てしたのか

を具体的に記載してください。

**２．専門家指導の内容**

|  |  |
| --- | --- |
| 専門家 | 所属先名称　　： |
| 役職名及び氏名： |
| 契約金額 | １日当たりの単価　　　　　　　　　　　　円（税抜き）単価　　　　　　　　　　　　円（税込み）総額　　　　　　　　　　　　円（税込み） |
| 指導の概要 |  |
| 専門家の専門分野 |  |
| 専門家の経歴 |  |
| 認定支援機関ID番号 | （※）認定支援機関確認書の発行機関であるかを問わず、認定支援機関である場合はID番号を記載してください。 |

（様式１０－２） ※小規模型試作開発等においてクラウド利用費を計上した場合、記載してください。

**クラウド利用費の内容**

※　クラウドサービス提供事業者から聴き取りを行うか、又は、本様式と同内容の利用明細書を徴収するなどして、内容や実績額を記載してください。（クラウドサービス提供事業者による記載も可。）

事業者名：

　単位：円

|  |
| --- |
| **クラウドサービスの内容（クラウド事業者から提供されたサービス）** |
| １．クラウドサービス提供事業者名 |  |
| ２．クラウドサービスの名称 |  |
| ３．今回契約しようとする契約数（ユーザー数・台数等） |  |
| ４．クラウドの形態※　クラウドは、いわゆるホスティングが対象であり、オンプレミス・ハウジング（自社でハードとしてサーバーを保有、借用、リースする場合）は対象外です。  | ※　該当するクラウド形態に○印を付すこと。（複数選択：可）　　IaaS　・PaaS　・SaaS（ASPを含む） |
| ５．クラウドサービス概要※　VPS / CMS、アプリケーションサービス利用など、どのようにクラウドを使用したのか、概略を記載してください。 |  |
| ６．クラウドサービススペック等※　SaaSの場合は使用するアプリケーションの内容、スペック等を、PaaS・IaaS等の場合にはCPU・割当メモリ（ディスク容量）・最大ネットワーク帯域、OS・データベース・ミドルウエア・アプリケーションサーバー等を記載してください。 |  |
| ７．開発・カスタマイズしたソフト等の内容 |  |
| ８．初期費用 | ０ |
| ９．月額利用料金 | a.固定料金部分の費用 | ０ |
| b.従量制料金部分の費用 | ０ |
| **クラウドサービスの費用　計（８＋９）** | ０ |

（注）月額利用料金は、単月の費用×利用月分の合計を記入してください。

（様式１０－３）※災害復旧費を計上した場合、記載してください。

**災害復旧費の内容**

　事業者名：

|  |  |
| --- | --- |
| 経費区分 | 改修・改築等の概要 |
| 建物 | （事業費）　　　　円（内　容） |
| 建物付属設備 | （事業費）　　　　円（内　容） |
| 構築物 | （事業費）　　　　円（内　容） |
| その他の設備や備品等 | （事業費）　　　　円（内　容） |
| 災害復旧費合計（円） |  |

※（１）経費区分ごとに主な改修・補修等工事の概要を記載してください。

　　　　例　○○工場棟屋根破損個所改修工事、工場棟外壁補修工事など

※（２）工事等事業の内容、事業費等がわかる資料（工事請負契約書、工事完了報告書等の写し）を添付してください。